

ふれあいネットワーク

No.2

うるま市社協だより

社会福祉法人

うるま市社会福祉協議会

〒904-2225

うるま市字喜屋武382

☎ 973-5459 FAX 974-5306

街頭募金を盛り上げ隊!

《高校生イベントボランティア育成事業活動》



目次

- ◇ 生涯学習フェスティバル/第2回うるま市社会福祉大会 2
- ◇ ボランティアセンター関係 3
- ◇ ミニデイサービス関係 4
- ◇ 地域活動支援センター 5
- ◇ 福祉団体活動紹介 6
- ◇ 地域活動紹介/お知らせ/寄付 7~8



この広報紙は赤い羽根共同募金配分金を活用させていただきました。

健康で豊かな教育・福祉の実現を目指して

第2回うるま市生涯学習フェスティバル

『ひとに出会おう、学びに出会おう』をテーマに去る2月3日(土)・4日(日)の両日、第2回うるま市生涯学習フェスティバルが開催されました。

福祉部門の催しで、屋内では、舞台・展示発表、ボランティア占いや高齢者疑似体験コーナー及びふれあい囲碁大会、アニメ映画会が催され、高齢者疑似体験コーナーで体験された方からの感想としては『急ぎたいけど急げないし、物が見えにくいので読み書きに不便で目も疲れる、大変だと感じた。体験できてよかった。』体験してみても予想以上にとてもとてもびっくりしました。



高齢者疑似体験コーナー



セラピー犬デモンストレーション

体を動かすことや生活することなどが、こんなにも力を使うことなんだ。」といった意見等もありました。屋外では、ふれあいグラウンドゴルフ大会、NPO法人沖縄災害救助犬協会による災害救助犬、セラピー犬のデモンストレーションや各種サークルによる展示即売等で賑いました。

今回初めての試みで、災害救助犬のデモンストレーションは参加者から『自分の愛犬も今からでも訓練すれば賢くなるかな』又、犬と触れ合うコーナーでは、『犬を直接触って遊べてうれしい』『いろんなことを教えてもらって良かった』と大喜び、犬たちの賢さに感激し、『来年も連れて来て欲しい』との声がありました。

『優しく思いやりのある強い心を育てる地域社会』

第2回うるま市社会福祉大会

動を行う新赤道地区(地域づくり)の2団体から、実践活動の報告が行われました。

最後に中村輝子大会副会長(うるま市ボランティア連絡協議会会長)が『私達は、ここに総力を結集して、地域における福祉文化の創造を積極的に推進し、一人ひとりが分け隔てなく支え合い、共に生きる福祉社会の実現を目指して、全力を傾けることを誓う』と大会宣言を朗読し、会場の参加者の拍手をもって採択されました。



感謝状授与式

『優しく思いやりのある強い心を育てる地域社会』をスローガンに、去る2月23日(金)にうるま市芸術劇場響きホールにて開催され、第1部の式典では、これまでうるま市社会福祉事業に多大な功績のあった109名の(個人76名・団体33団体)が表彰されました。

第2部では、ボランティア活動推進校の市内宮森小学校、伊計小中学校、石川中学校の3校及び地域ボランティア団体から学習サポーターチーム「かかゆま」と地域で見守り活



伊計小中学校の活動体験発表



小学校5年生の設定に、童心にかえって
買い物に夢中になる皆さん

うるま市社会福祉協議会主催による平成18年度福祉教育・ボランティア活動関係講座が8月29日(火)、うるま市石川社会福祉センターで開催されました。

うるま市内のボランティア・福祉教育を担当する教職員・保育士ら30名が参加。「NPO法人沖繩リサイクル運動市民の会」によるゲーム形式のプログラム体験で、本講座のテーマ「楽しく活動でき、自発性を育むこと」「自ら問題・課題を感じ、気づき、考え、行動できる」内容の体験プログラムを指導教員・保育士自身が体感し理解を深めたようです。

うるま市ボランティアセンター／福祉教育の推進活動
保育士・教職員が買い物ゲーム
「自発性を育てる」プログラム体験



生涯学習フェスティバルでピラ配り
手づくりの風船と衣装で人気者

うるま市ボランティアセンター／ボランティア活動促進
高校生のマイディアマウなる気
イベントボランティア育成事業

市内の学校に通う高校生のボランティア活動推進を目的に、うるま市子どもの居場所づくり実行委員会との共催による事業で、参加人数は延124名。

今年度は、8月に24時間テレビ街頭募金、2月に生涯学習フェスティバルの合わせて6種類のボランティア活動プログラムが行われました。

高校生は、自らが主体となって事前の準備や打ち合わせ、会場を盛り上げる企画を立てて活動に臨みました。

ふれあいグラウンド・ゴルフに参加した高校生からは、「だんだん慣れてきて、参加者の笑顔をいっぱい

い見れて幸せな気分になりました♡」という声が聞かれました。

ほとんどが初めてのボランティア体験ということでしたが、今回のイベント活動を成功に収めたその笑顔は、誰もが自信に満ちていました。

あなたのやさしさかかってこい
うるま市ボランティア
**「プルタブを集めて
車いすを贈る」に
ちよこ」と待った!!**

「プルタブを集めて車いすを贈りたいのですがどのくらい集めたらいいですか?」「プルタブを集めたのですが、どこで車いすに換えてくれますか?」などの問合せがあります。

この「プルタブを集めて車いすを贈ろう」という活動は、以前のプルタブが缶から切り離されるもので、道路などに散乱しやすかったため、環境美化の一環から散乱するプルタブを集めて新しい資源として車いすに換えようということからはじまりました。



しかし、現在のプルタブは、散乱防止のために切り離されないようになっています。それを、無理やり手を傷めて取る必要はありません。皆さんは、プルタブを集めて車いすを贈るといふ話を聞いた事があるでしょうか? 県内の場合、プルタブ



と車いすを直接交換するのではなく、プルタブをアルミ缶回収業者に買い取ってもらい、

そのお金で車いすを購入するので、す。ですから、プルタブだけでなくアルミ缶も一緒に集めた方がずっと効率的です。

プルタブだけで車いす一台を購入しようと考えると、約140万、200万個必要だと言われており、アルミ缶回収では、約5万5千個と言われています。アルミ缶のほうがプルタブよりも40倍もの価値があります。アルミ缶を買い取る業者もプルタブだけでなく細かすぎてリサイクルするにも手間がかかるようにして買取りを断ることもあるようです。収集する際にはプルタブだけでなく、アルミ缶も一緒に収集することを勧めます。また車いすが本当に必要なのか、支援したい相手が必要としているのかニーズを確かめることが大事です。

【相談・問合せ先】

うるま市社会福祉協議会石川支所
うるま市ボランティアセンター
うるま市石川伊波287-4
(市石川社会福祉センター内)

☎ 098・964・2494
FAX 098・964・4747

うるま市地域公民館ミニデイサービス事業

元気に民舞

生涯学習フェスティバル舞台発表

生涯学習フェスティバルが、2月3日・4日に市総合体育館にて開催されましたが、3日(土)の舞台にて、ミニデイを利用している高齢者の方々が踊りを披露し、日頃より「元気で長生き」を合言葉に生き生きと活動しているそのパワーを来場した皆様に、堂々と発表されました。

舞台発表を行ったのは、栄野比なんくる会、港区もーあしび会、平安座ゆうなの会、南風原らの会の4区。

普段からミニデイ以外の日に公民館で踊りを練習している皆さんだけあって、息もぴったり、衣装もお化粧もばっちり。



▲港区もーあしび会の皆さん



▲栄野比なんくる会の皆さん



▲南風原らの会の皆さん

▲平安座ゆうなの会の皆さん

港区から参加した島袋磨子さんは「今日の舞台は上手下手じゃないのよ。こうして元気に自分の足で舞台に立つことが嬉しいの。こういう機会を与えてくれ感謝しています。」とやさしい笑顔で話されていました。

ミニデイ関係者

一堂に集う

ミニデイサービス事業連絡会

1月30日、いちゆい具志川じんぶん館にて「ミニデイサービス事業連絡会」が開催されました。

ミニデイの関係者が一堂に会するというのは、合併後初めてとなり、171名の方が参加されました。会では、ミニデイ事業の目的や地域包括支援センターの紹介、緊急時の対応など説明を行いました。

また、南栄区の伊波タケさんより日頃の活動の様子を紹介して頂きました。南栄区では毎週水曜日に実施していることや、高齢者とボランティアが一緒になって活動を支えている様子などを伝えていただきました。

冒頭では社協会長と市福祉部長山内氏から「皆様の日頃の活動が地域活性化の一役を担っており、今後ともミニデイがスムーズに実施されることは大切。」と日頃の活動に対し感謝と激励の言葉がありました。参加された方々からは、「連絡内容が分かり易く、今後のミニデイの方向性やどうあるべきかなども理解することができ、とても勉強になった。」「こんなに多くの方がミニデイに関わっていることにびっくり。また、皆さん非常に関心が高く、その事に感心しました。」などの声が聞かれました。

▼多くの方が参加されました。



▲事例紹介を行う伊波さん。



【問合せ先】

うるま市社会福祉協議会石川支所
うるま市石川伊波287-4
(市石川社会福祉センター内)

☎ 098-964-2494

FAX 098-964-4747

直通 ☎ 098-965-6800

あいあい通信

～地域で暮らす～

あいあいの紹介

支援センターあいあいは、平成14年7月に精神障害者地域生活支援センターとして開所し精神障がい者の地域生活の支援をおこなってきましたが、平成18年10月から障害者自立支援法の本施行により、『うるま市地域活動支援センターあいあい』として運営活動を行っています。当センターでは、創作的活動や社会との交流、行き場としての憩いの場の提供と生活相談を行っています。

憩いの場とは？

心の病を患った方々は、外に出る事が怖かったり、友人がいないなどの理由で家に引きこもる場合があります。あいあいでは行き場として利用することができますので、まずは見学をするなどしてみてはどうでしょうか。

憩いの場を利用してみて (利用者の声)

・ 社会の偏見を気にすることなく
自信や、安心感がだんだんと湧いて

くる場(T・T)
楽しくて、落ち着いて勉強できる
場(T・K)



憩いの場での活動写真

自主活動グループ紹介 (ボランティアグループ)

いっちゃん会は、当事者同士で作るボランティアグループです。

地域でのボランティア活動(街の清掃や行事への参加)という社会貢献的活動を行っていく事で、自分達の活動を地域の住民に知ってもらい、障がいに対する偏見のない「誰もが楽しく生活できる社会」を目指して活動しています。その他、楽しい行事も企画し行っています。

地域活動支援センター あいあい
うるま市みどり町一ー一
☎ 098-1974-0555

病気について 第1回 (一人で悩まないで～うつ病～)

うつ病とは、ゆううつ気分が続く、なかなか眠れない、気が重く何もするきが出ない、何も楽しくない等の症状が長期間続き、日常生活に支障をきたすようになってしまう病気です。この様な症状は自分の気の持ちようでどうにかなると思ひ頑張るのですが、なかなか気分がいい方向にいかずに、焦ってしまい症状を悪化させてしまう事がありますが、うつ病は早期発見早期治療にて症状が改善する場合が高いそうです、現在では脳の神経伝達物質が減少している事が原因との事で、その物質を補うお薬が使われています。一人で悩まないで早めの診察をするようにしましょう。



うるま市役所周辺を清掃。
1時間でゴミの山ができました。

要約筆記奉仕員派遣事業 要約筆記派遣します

耳の聞こえに問題がある人の情報支援をします。

1. 対象者：うるま市民
2. 利用料：無料
3. 申込み：申請が必要です。

要約筆記とは？

耳の聞こえに問題がある方の、会議参加や病院受診の際に話し手の言葉を文字に変換しコミュニケーションを図る事を意味します。

問い合わせ 社協 本所(創作館)
☎098-979-0012 FAX098-979-0013

福祉機器リサイクル事業 ＝在宅療養の支援します。＝

福祉機器貸出し

1. 対象：うるま市民
2. 機器：車いす・介護ベッド・シャワーチェア等
3. 利用料：無料
(但し、ベッドマット等一部機器消毒代負担有)
4. 申込み：申請が必要です。

問い合わせ

本所(創作館) ☎098-979-0012
石川支所 ☎098-964-2494
与那城支所 ☎098-978-0011
勝連支所 ☎098-978-5914

生活上の悩み心配事は ふれあい相談所へ

社協本所
各支所に
相談室を
設置



相談専用電話

本所 974-5341
石川支所 964-5963
勝連支所 978-1509
与那城支所 978-0011

福祉団体活動紹介

うるま市身体障がい者協会

2市2町身障協が合併し、平成18年4月30日に結成総会を開催し役員、理事、会則、事業計画、予算案などが承認され「うるま市身体障がい者協会」がスタートしました。

スポーツ大会、フライングディスク教室、エコクラフト教室、チャレンジパソコン教室等、多彩な催しを開催致しました。

12月3日には「芸能・文化祭」を開催したところ多くの観衆が、うるま市石川会館に足を運んで下さりまして大盛況でした。

うるま市身体障がい者協会では、サークル活動も多数ありますので興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

うるま市身体障がい者協会事務局

住所 うるま市石川伊波 287-4

☎ 098-964-1901 (FAX兼)



エコクラフト教室



囲碁大会

仲間づくりトトロの会



琉球村での楽しいピクニック

トトロの会は、知的障害を抱える子と、その親で結成された自助グループです。

「楽しく」「焦らず」「助け合う」をモットーに子供達ができる訓練や児童館事業との共催、親同士の情報交換、学習会の開催等の活動を主に行っています。

活動を通して多くの人に、障がいに対する理解や共に支えあう社会の必要性を訴えていきたいと考えています。

また、将来は作業所の設立を目標としています。

現在の会員は26名で与那城地区、勝連地区からの参加となっていますが、私たちと一緒に遊んだりお手伝いができる方を募集しています。賛同者であれば、どなたでも大歓迎です。連絡待っています。

連絡先：田原 真由美 ☎ 098-978-2346

午後1時～5時

夢実現…法人認可決定

社会福祉法人 大樹会

所長 安村昭弘

旧ぐしかわ福祉作業所は、昭和62年に故・普天間盛助さんによって設立されました。当所から法人化を目指して来ましたが、資金面と土地の確保が難しく、あれから20年余の歳月が過ぎてやっと夢が実現致します。

親の会が設立主体となり資金集めに毎年(20年間)旧具志川まつり、生涯学習フェスティバルに、そばを出店して収益をコツコツ預金してまいりました。

また、各団体が自主的に企画してチャリティーショーを開催して戴き、その収益金も建築資金として積み立ててきました。

その他、保護者からの寄付金、理事の皆様からの贈与金として合計3千万円の自己資金と国、県からの補助金と市からの土地(400坪)の無償貸与があって、1億2千3百90万円の施設を建築中であります。5月に完成、6月開所の運びとなっています。

ここに市ご当局を始めここまで御支援ご協力戴きました関係者の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

新しい施設が完成した暁には、すべての障がい者に働く場を保障し作業を通して自活に必要な指導訓練を行い、自立と社会性を育み、地域の中で自立を図り、ノーマライゼーションの思想を地域に広げていく福祉の拠点とする方針でございます。

これからも、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

『みんなで地域を見守り隊』

～新赤道区の活動～

数年前、沖縄県内で孤独死という悲しい事件が立て続けに起きたことがあります。その事件がきっかけとなり、具志川地区にて「みんなで地域を見守り隊」の活動がはじまりました。

見守り隊は各自治会ごとにミニデイボランティア、自治会長、民生委員を含めた地域のボランティアの皆さんがひとつのチームをつくり活動を行っています。内容としては、主に一人暮らしのお年寄りが地域の中で孤立することなく安心して生活できるように、さりげなく「見守り声かけ活動」を行い、異変に「気がついたら」自治会や地域の民生委員に連絡するという役割を担っています。

市内にも何ヶ所か活動している自治会がありますが、今回は新赤道の紹介をします。活動のきっかけは、平成16年に在宅介護支援センターの相談協力員として地域ボランティアの名簿を提出したこと。見守り隊のメンバーは元警察官の大城隊長を筆頭に、老人会役員、ミニデイボランティア、民生委員、自治会長が集まり活動をスタート。

見守り隊結成後、新赤道地区において一人暮らしのお年寄りが亡くなった後に発見されるという寂しい事件が3件発生。その事件があった、地域での「見守り」とい

うことの大切さを実感し、活動内容の見直しをする。

〈目的〉

ミニデイに参加していない高齢者の参加の促しと、何らかの理由により参加できない高齢者を見守り問題に気づいた場合は、自治会長及び民生委員に連絡し関係機関と連携して共に問題解決できる体制づくりをする。

〈活動内容〉

①各隊員は日常生活で空いている時間帯に担当地区のお年寄りを平素から随時見守り、健康状態や異常の有無を確認する。

②ミニデイ終了後に見守り隊の定例会を行い、支援センターの職員や、警察官等に参加していただき情報交換をする。

③12月には簡単なクリスマスプレゼントを持参して合同でお年寄りの家を訪問するといったもの。

「私たちが歳をとったときに地域の後輩に見守られながら安心して生活できるよう世代間の引継ぎも行いながら活動を絶やさず継続していくことが私たちの望み。」と話してくれた見守り隊の皆さんはとても輝いて見えました。



あなたの手話で社会貢献しませんか？

受講者生募集

手話奉仕員スキルアップ講座

市社協では、聴覚障がい者の情報支援の充実を目的として一定の手話技能を有する方を対象としたスキルアップ講座を左記のとおり開催致します。

期日 平成19年6月1日、

平成19年12月4日まで

毎週金曜日(28回)

時間 午後2時～4時

場所 市具志川福祉センター

参加費 千円(テキスト代)

対象

手話養成講座修了者又は同等の技能を有する者で修了後奉仕員として活動できる者に限る。※市外可

申込み期限 5月31日まで

申込み先

社協本所 ☎098-979-0012

ひとり親世帯新入学児童・生徒 激励事業の申請について

社会福祉協議会では、ひとり親世帯等の新入学児童生徒に対し激励金の贈呈を行います。

〈対象うるま市内に居住する〉

①母子家庭の小学校1年生

②父子家庭の小学校1年生及び中学1年生

③その他の養育世帯(遺棄等により祖父母が養育している世帯)の小学校1年生及び中学校1年生。

④ひとり親世帯に準ずる世帯の小学校1年生。
生活保護世帯は対象外とする。

〈申請方法〉

所定の申請書に記入し、居住する地区の社会福祉協議会本所・支所に申請する。

〈受付期間〉

平成19年4月16日～27日まで

〈問い合わせ〉

本所 ☎973-5459
石川支所 ☎964-2494
与那城支所 ☎978-0011
勝連支所 ☎978-5914



ご芳志ありがとうございます

平成18年7月1日～平成19年2月28日

〈香典返し〉

御芳名	地区	金額	備考
平川 惣一郎	みどり町	50,000	故 平川 進昌様
中 村 準	与那城屋慶名	100,000	故 中村 ヨネ様
新里 一郎	勝連平敷屋	50,000	故 新里クニ様
幸喜 紀美子	字 喜屋武	50,000	故 幸喜昌太郎様
伊 盛 康 男	勝連平安名	50,000	故 伊 盛ムト様
桑江 芳子	字 喜屋武	50,000	故 桑江常輝様
田 仲 春子	字 喜屋武	100,000	故 田 仲康栄様
嘉陽 文雄	字 川 田	50,000	故 嘉陽順子様
山 里 昇	勝連平安名	50,000	故 山里照子様
前代 邦夫	勝連平敷屋	100,000	故 前代辰夫様
渡口 恵美	字 高江洲	100,000	故 渡口麗徳様
野島 安子	嘉手納町字水釜	100,000	故 野島健様
島袋 吉郎	喜 仲	100,000	故 島袋ウト様
平安名 トシ	勝連平安名	50,000	故 平安名栄喜様
新里 光枝	沖繩市宮里	100,000	故 新里泰一様
奥田 雄一	宜野湾市大謝名	100,000	故 奥田トミ様
徳 嶺 勇	勝連平敷屋	20,000	故 徳嶺マツ様
名渡山 茂	字 赤道	100,000	故 名渡山千代様
富田 順子	石川東山本町	100,000	故 富田烈様
伊 藝 俊子	喜 仲	50,000	故 伊 藝兼造様
目取真 盛昌	みどり町	50,000	故 目取真ヒデ様
渡口 弘子	字 喜屋武	100,000	故 渡口毅様
稲嶺 盛光	字 具志川	100,000	故 稲嶺豊様
我如古 長儀	字 西 原	50,000	故 我如古ミヨ様
名護 静子	字 喜屋武	50,000	故 平川マウシ様
譜久山 稔	字 高江洲	50,000	故 譜久山朝賢様
久貝 京子	字 宮 里	50,000	故 久貝清徳様
仲本 キク子	字 西 原	50,000	故 高江ヒデ様
神田 郁子	字 喜屋武	50,000	故 天願恵美様
松本 全雄	字 天 願	100,000	故 松本キク様
徳田 春子	字 豊 原	50,000	故 徳田榮信様
仲吉 恵美子	みどり町	50,000	故 仲吉哲雄様
又吉 盛栄	石川東恩納	20,000	故 又吉カツ様
大野 操	字 安慶名	100,000	故 大野顕様
津嘉山 アキ	与那城西原	50,000	故 嘉山盛芳様
横田 宗一	字 赤 野	100,000	故 與古田山様
国場 秀雄	みどり町	100,000	故 国場世範様
小谷 好子	字 兼 箇 段	100,000	故 小谷良康様
吉原 松信	勝連平敷屋	50,000	故 吉原カツ様
照屋 志津子	字 前 原	50,000	故 照屋寛得様
下田 金治	与那城伊計	100,000	故 下田トシ様

〈一般寄付・その他〉

御芳名	地区	金額	備考
ユニオンあげな店	みどり町	4,735	社会福祉事業へ
陸上自衛隊六甲群曹友会 勝連分	勝連内間	30,000	社会福祉事業へ
匿名希望	字 宮 里	5,000	社会福祉事業へ
匿名希望	沖繩市池原	10,000	社会福祉事業へ
幸 地 良 盛	石 川	220,075	準全島闘牛大会による収益金
照屋 林 嘉	字 豊 原	100,000	百才を記念して
平 良 栄	字 天 願	50,000	米寿祝いを記念して
野 原 サ チ	勝連平安名	30,000	米寿祝いを記念して
ルネッサンスリゾートオキナワ 総支配人 伊良波 清	恩納村山田	33,000	社会福祉事業へ
崎 原 ト シ	勝連平敷屋	50,000	米寿祝いを記念して
(株)タバタ	石川赤崎	1,000,000	社会福祉事業へ
普天満宮 宮司 新垣義夫	宜野湾市普天間	40,000	社会福祉事業へ
具志川なつメロ友の会		1,012,583	第18回ナツメロ歌謡チャリティーショーの収益金
宗教法人 浄願寺	石 川	40,000	社会福祉事業へ
石川三育保育園	石 川	10,000	社会福祉事業へ
セブンスターアドベンチスト 石川キリスト教会	石 川	3,000	社会福祉事業へ
うるま市勝連商工会	勝連平安名	50,000	社会福祉事業へ
与 勝 具 志 川 ライオンズクラブ		70,000	社会福祉事業へ
電源開発株式会社	石川赤崎	300,000	社会福祉事業へ
うるま市社交 飲食業組合	みどり町	100,000	社会福祉事業へ

〈指定寄付〉

御芳名	地区	金額	備考
山 根 静 枝	勝連平敷屋	30,000	障害者福祉事業への活用
(株)タバタ	石川赤崎	300,000	港区、南栄区へ

編集後記

4月と言えば入学・就職と多くの人が期待に胸膨らませている季節と言われています。実は社協でも期待できる事があるのです。

今回の発行に先駆け、本所、各支所より選抜された10名で広報委員を再編致しました。

未熟ではありますが、10名の知力と機動力を結集し、魅力ある広報誌作りを取組んでいきます。

内容も「市民に愛される誌面づくり」を目指し社協の活動内容や地域の紹介等、幅広い情報を提供したいと考えています。乞うご期待下さい。ではまた。

次回7月の予定。
By 悩み多き広報委員

〈問い合わせ〉
勝連支所 2978-5914

「ゆずってくださーい！」
子ども達のすこやかな成長を願って、4月下旬から5月上旬にかけて、きむたかホール前の広場にたくさん「こいのぼり」を泳がそうと計画し、こいのぼりの提供を呼びかけています。



県社会福祉大会において
県知事より感謝状を贈呈される
(株)タバタ 代表の田端氏